

プレーリードッグの「クレソニン」

オグロプレーリードッグの獣舎は、皆さんから見える「運動場」と見られない「寝室」があつて、運動場と寝室を自由に行き来して暮らしています。

この時期、朝はとても寒いので、私たちも布団から出るのがつらいですが、プレーリードッグもなかなか寝室から出てきません。

飼育員 日誌

須坂市動物園



夏季だと午前7時前から、運動場に出てくるのに、冬季になると10時過ぎまで、出てこないこともありません。寝室に帰る時間も、夏季は午後6時過ぎ、冬季は2時前です。

寒いと寝床から出て来ません

寝室の中はどうなっているのかというところ、干し草がたっぷり敷かれています。もともと、地面に巣穴を掘って生活する動物なので、干し草をうまく自分たちで整え、中に潜って寝ています。

冬季はあまり、プレーリードッグの姿をお見せすることができず、申し訳ありません。でも、今朝の自分の姿を思い出して、大目に見てあげてください。

(オグロプレーリードッグ担当

矢嶋里歩)

